

情勢報告

「地元の特産品知って！」～室戸海洋深層水なす出前授業～



みんなの地元はナス産地！

1月31日、室戸市立三高小学校の児童10名を対象に、地元を代表する特産品「室戸海洋深層水なす」の出前授業を行った。

普及指導員を講師に、児童は地域資源や気象条件を生かした深層水なすの栽培方法を学んだ。また、ナスのハウスでは生産者がナスの収穫方法や天敵の探し方を説明し、児童らは収穫体験や天敵の観察をした。

児童からは「農業で大変なことはなんですか？」等たくさんの質問が寄せられ、地元の特産品や農業への関心が高まった。

振興センターでは、今後も出前授業を通じた産地の情報発信を支援する。

花き出前授業～安芸市川北小学校～



熱心にノートをとる

1月31日、川北小学校4年生22名を対象に花きの出前授業を行った。地元の球根部会長が講師を務め、地元を中心に花きの栽培や出荷等をやさしく解説した。

また、JA女性部員によるフラワーアレンジの制作を実習した。児童は色のこだわりや高さを競うような作品を自慢しあっていた。

振興センターは、授業で使うパワーポイントの作成支援や地元花材の調達や連絡、調整を行った。

今後も花きの振興を図るため、産地の状況を自ら情報発信できるリーダーの育成に努める。

土壌中の養分を分析してみよう～中芸・唐浜営農相談日～



分析結果を話し合う

2月4日、中芸集出荷場、6日、唐浜集出荷場で毎月1回開催している「営農相談日」を行った。1月から新たな試みとして、生産者自ら定期的な分析による施肥設計が行えるようにEC計等を設置し、土壌溶液の採取・分析を開始した。

振興センターはJAと共に、分析機器の使用法や測定結果の判断方法、施肥管理の指導・提案を行った。

今後も振興センターは自己分析・診断できる体制整備の支援と施肥管理の意識啓発を行い、生産者の施肥技術の向上を支援する。

「お国自慢の会」開催



自慢のメニューを発表する

2月8日、田野町千福集会所で、中芸地区農漁村女性グループ研究会が、地域の料理を紹介し、消費拡大につなげることを目的に「お国自慢の会」を開催した。

振興センターは開催にあたって、メニュー決めなどの準備に協力・指導した。

各グループがナスやミョウガ、ユズ加工品など中芸地区の食材を活用した料理25品を持ち寄り、40人が自慢料理を堪能した。参加者からは「自分達で地元の良さを再確認し、地域産物の消費拡大に力を入れていきたい」との意見が出た。

振興センターは、「お国自慢」の冊子作成やグループ活動を支援する。

特別栽培農産物での区分販売が始まる～芸西ピーマン部会～



勉強会で熱心に議論

2月13日、JA土佐あき園芸研究会芸西ピーマン部会が開催され、部員17人が出席して現地検討会及び勉強会を実施した。

芸西集出荷場では1月21日から新しい選果機の導入を契機に特別栽培農産物（以下特裁）での区分販売を開始し27戸が取り組んでいる。

振興センターは提案した施肥体系による実証圃について経過報告や情報提供を行った。農家には、これで栽培終了まで特裁が継続できることが理解された。

振興センターは今後も特裁定着に向けて支援する。